

奈良新卒応援ハローワーク通信

第3号 令和3年1月4日

奈良県のユースエール認定企業が増えました！

本年は奈良県で新しくユースエール認定企業が2社増えました。ユースエール認定企業とは、若者の採用・育成に積極的かつ雇用管理の状況などが優良な中小企業として、厚生労働大臣に認定された企業のことをいいます。令和2年12月16日(水)にハローワーク奈良で開催したオンラインの介護事業所説明会の冒頭に、新しくユースエール認定企業となった「有限会社ナイスケアサポート」へユースエール認定証の交付式を行いました。認定証の交付を受けた後の企業説明で、ナイスケアサポートの魅力をとっても楽しそうにお話されていたのは、代表取締役の井尻さんです。説明会の後には、奈良新聞の取材も受けられ、ユースエール認定企業になった気持ちを「うれしいです」とお話しされていました。



ユースエール認定証交付式の様子



オンライン説明会の様子

だって介護が好きだから

今回は代表取締役の井尻さんと、管理者の山本さんに「有限会社ナイスケアサポート」の魅力についてお話を伺いました。

代表取締役の井尻さんはもともと看護師として病院で勤務されていました。介護保険の制度の始まりをきっかけに、ケアマネジャーの資格を取得され、産休に入った方の代わりとして、ケアマネジャーの仕事をしたときに、生活を通して利用者の方と関わることができる介護の仕事に魅了されたそうです。

そして自分の理念を貫きたい、と看護師の仕事を辞め、2002年に有限会社ナイスケアサポートを立ち上げ、介護事業を始めました。「自分が年を重ねたときに、入所したいと思えるような居心地の良い介護ができれば、きっと利用してくれる人がいる」という自信があったと井尻さんは言います。ただ、経営に関しては知識がなく、最初は理想を追い求め、苦労した時期もあったそうです。しかし、理念を持ち続け、経営の勉強もして、19年目となった現在は2か所で8つの事業を展開しています。井尻さんは、看護師でもあるので、現場の最前線で介護に携わることもあります。その理由を井尻さんに尋ねると、「だって介護が好きだから」とお話しされていました。

有限会社ナイスケアサポートの理念は、『誰もが安心していられる居心地のよい場所を』。ナイスケアサポートの各施設にはそれぞれ名前がついていますが、総称として『桜』と呼ぶことが多いそうです。

『桜のごはんはおいしいと聞きました』とよく言われるほどの自慢の食事は事業所の中で作っており、病院では食事を残していた方も、桜に来ると食事を完食するようになるそうです。苦手な食べ物を把握し、メニューに苦手な食べ物があれば別の食べ物に変更するなど、一人一人の嗜好に配慮して食事を用意しています。飲み込みやすいように食材を細かく切る場合や、流動食を提供する場合でも、見た目にも美味しい食事に気を使っているそうです。

高齢者住宅などの建物にもあえて大きな看板を出さないことで見た目は普通の家のように。室内のテーブルや椅子もあえて介護用のものを使わない、室内装



有限会社ナイスケアサポート本社

飾も大人が落ち着いて暮らせるようにする、など、できるだけ、『施設らしさ』を感じさせない、住宅のような環境づくりにこだわっています。

ユースエール認定企業になりました

介護は人手不足の状態とよく言われます。現在ナイスケアサポートで働いている職員の多くは、会社の理念に共感して入職してくれました。みんなが同じ理念を持って働いているので、職員にとっても居心地がよく、お互いが助け合えるような職場の雰囲気があるそうです。将来的にこの雰囲気のある会社を維持していくためにも、「ぜひ新しく若い方に入職していただき、長く勤めてほしい」と井尻さんは言います。

ユースエール認定企業になったことで、雇用管理などをきっちりしている会社という認識を持ってもらうことができます。ユースエール認定制度の認定基準の一つに新卒者などの離職率が20%以下という項目がありますが、ナイスケアサポートは若い方に限らず、辞める人はとても少ないそうです。辞める人が少ないからこそ介護の質を担保することができ、居心地の良い場所を作ることができるのです。ナイスケアサポートでは、地域の方々をお招きして、コンサートやお祭りを開催することもあります。「こういってことができるのも、長く働いてくれている職員のみなさんの理解とサポートがあってこそ。」と井尻さんは話され、山本さんは「職員もみんな楽しんでやっていますよ」と話されました。

職員にとっても居心地のよい場所に

新しく入社した職員の教育には、プリセプター制度を設けています。入職してから1年間、先輩職員が付き、技術面だけでなく、精神面でも新入社員をサポートしています。簡単にいえば、兄弟・姉妹のような関係です。

仕事を続けていると、出産や育児を経験する場合もあります。「男性でも女性でも、子供が生まれたら、産休や育休を取得するのは当たり前前の権利だと思っています。育児休業を取得する職員がいると、長期的に見て、会社にもメリットがあるんです。私自身が、子育てを経験して物事の見方が変わりました。自分の思う通りにならないときに、どのように段取りを組んで仕事をするかを考えて、行動する力が磨かれ、さらに成長して帰ってきてくれるのです。」と井尻さんが話されるように、産休や育休も取りやすく、長く勤め続けることができる風土があります。

ナイスケアサポートでは、管理者の8割が女性です。山本さんはお子さんが小さいときに、管理者になりました。子育てしながら管理者として勤めることを山本さんは最初不安に思ったそうですが、「そうすることで、保育所へのお

迎えに間に合わせるために、段取りを組んで仕事をするようになり、業務改善にもつながる。小さい子供を持つ人が管理者になることは、会社にとってもいいことなのよ」と井尻さんが背中を押してくれたそうです。

ナイスケアサポートでは、社内の経営指針の発表会や新入社員の歓迎会などの社内イベントに、職員のご家族が参加することも多く、会社全体が子育てを応援してくれる職場です。

幸せに生きることのお手伝い

新型コロナウイルスの感染が広がる今、人と人が接する介護の事業所として、どのような対策をされているのかも伺いました。

デイサービスの利用者とそのご家族にとって、デイサービスに通えなくなることでリスクはとても大きいそうです。普段と生活が変わることで病気が進行してしまったり、元気がなくなったりする方もいます。そこで、安心してデイサービスを利用してもらうために、桜では利用者全員に、どんな対策をするのか事細かに書いた手紙を届けました。また、利用者や利用者家族、職員、職員家族などに発熱など感染の可能性がある場合は、情報を隠さずに共有することを徹底しています。事業所でも感染対策チームを設置し、職員や職員家族が体調不良などを感じた時に、どのように対応するのかを細かく定めた規則を設けています。このような取り組みの結果、長期的に施設を閉鎖することなく、利用者が減ることもほとんどなく、ここまで来ることができました。さらに、冬に感染者が増えることを見越して、高密度の換気装置も導入し、対策を続けています。

「利用者の方は人生の先輩です。その先輩方には職員の成長を見守って下さる方もおられます。大人になって、人から頭をなでて褒めてもらえることはなかなかないですよ。でも桜には、たくさんの人生の先輩がいるので、それをしてもらえる場所であり仕事なのです。ぜひ一度『有限会社ナイスケアサポート 桜』を見に来てください。きっと桜を好きになってもらえると思います。」と井尻さんからのメッセージをいただきました。



デイサービス内の様子

有限会社 ナイスケアサポート

<https://www.nicecare-support.com>

事業内容

ケアマネ事業、一般デイサービス・地域密着型デイサービス・認知症対応デイサービス、サービス付き高齢者住宅等

本社所在地

奈良県奈良市中山町1324-1



社内イベント「お餅つき」の様子